

日立物流グループの強み

日立物流グループの3つの強みは、「オペレーション遂行力」「先進的なロジスティクスエンジニアリング力」「グローバルネットワーク」です。物流事業会社として創業以来70年余培ってきたノウハウやネットワークを源泉に、安全性、品質、生産性に優れた総合物流サービスを社会に提供しています。



顧客サプライチェーンの課題分析
お客様とコミュニケーションを取りながら、データやヒアリングをもとに、サプライチェーン上の課題を分析

先進的な運営設計・提案
分析結果から最適な拠点配置、配送ルート、輸送方法、庫内運営方法を設計し、お客様へ提案

柔軟かつ確実な運営
綿密に設計した業務フローに基づき、オペレーションを遂行。安全、品質、生産性を厳しく管理

生産性・品質の継続的な改善
お客様からのフィードバックや従業員の声を取り入れた改善活動により、組織全体の生産性と品質を向上

日立物流グループの強み

- 国内のマーケットリーダーである3PLをはじめ、物流業務の豊富な実運営経験に裏打ちされたリアルな分析と課題の抽出
- 各業界に精通した営業担当とロジスティクスエンジニアが連携し案件に対応
- お客様との対話により、要望を的確に把握
- SCDOSを活用し、サプライチェーン上の情報の一元管理・可視化・分析・シミュレーションを実施し、お客様のサプライチェーン改革を支援
- データ分析の専門家を育成する独自の教育プログラム
- 拠点配置最適化、物流センター計画、倉庫内設計、庫内運営業務フローを構築するためのノウハウと社内体制
- さまざまな業種に対応する高機能な倉庫管理システム(WMS)の設計、開発
- 先進技術の導入により物流の高度化と自動化・省力化に戦略的に取り組み、持続可能な物流を設計
- 自動化・省力化のノウハウとデジタル技術を組み合わせたスマートウエアハウスの設計、提供
- 最新テクノロジーを活用し、社会インフラに関わるプラント貨物や機械設備などの重量物の搬出、輸送、搬入、据付までの一貫作業を設計
- グローバルサプライチェーンを支える国内外752の事業拠点
- お客様の販売チャネルや環境の変化に柔軟かつスピーディに対応可能な運営体制
- お客様および協力会社との良好で強固な関係
- KPIによる収益性、安全、品質、生産性の厳密な管理とその向上に向けた取り組みの実施
- 包装や輸送治具に関する技術を用いた輸送品質の向上や環境負荷低減の取り組み
- IoTテクノロジーを駆使した「SSCV」(輸送デジタルプラットフォーム)による安全運行管理の実施
- 「VC21活動」をグループ全体で実施。活動の進捗や好事例などが見える化し、改善文化が浸透
- ロジスティクスエンジニアリング力とデジタル事業基盤を駆使し、輸送ルート、庫内レイアウト、倉庫内作業プロセスを継続的に改善
- 各種改善教育の実施と各職場での実践
- RPA、AI-OCRなどのデジタルツールを駆使した組織横断型生産性改革の実施
- IoTテクノロジーを駆使した「SSCV」(輸送デジタルプラットフォーム)によるドライバーの技能向上指導の実施

関連するソリューション、ツール等

• SCDOS*
• データ分析の専門家の育成
※SCDOS: Supply Chain Design & Optimization Services

→ P29

• ECプラットフォーム(スマートウエアハウス)
• SLC*(倉庫設計支援ツール)
※SLC: Smart Logistics Configurator

• SSCV*1(輸送デジタルプラットフォーム)
• SDF*2(AI物量予測システム)
※1 SSCV: Smart & Safety Connected Vehicle
※2 SDF: Smart Demand Forecast

→ P31-32, P39-44

• 作業分析支援ツール
• RPA、AI-OCR*
• SSCV(輸送デジタルプラットフォーム)
※ AI-OCR: AI(人工知能)を搭載したOCR(Optical Character Reader/光学的文字認識)

→ P29

1 オペレーション遂行力

製造資本 人的・組織資本 社会・関係資本

物流に精通した多様な人財
グループ人員
43,729名

社会と人々の暮らしを支える輸送アセット
車両保有台数(リース車含む)
16,924台

LOGISTEEDを支えるデジタル事業基盤
自社開発稼働システム数
499

2 先進的なロジスティクスエンジニアリング力

製造資本 知的資本 人的・組織資本

データ分析、作業運営設計、包装設計、先端技術導入のプロフェッショナル集団

ロジスティクスエンジニアリング人材
約**250名**
データサイエンティスト: 育成講座受講者数72名(累計)を含む

SSCVのグループ内導入数
約**1,300台**
国内グループ会社全車両導入

AGV[®]、無人フォークリフト等自動化設備の導入
AGVのグループ内導入数
約**230台**

※AGV: Automated Guided Vehicle(自動無人搬送車)

3 グローバルネットワーク

製造資本

グローバルサプライチェーンを支える事業拠点

拠点 物流センター

29の国と地域 **752**拠点 計**753**万㎡

詳細はWebサイトをご参照ください。
スマートウエアハウス <https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/swh/>
SLC https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/solution/smartlogistics/smart_movie01.html